

市販資材を用いたニホンジカ用簡易囲い罠の開発

【特徴】

- ・足場用単管パイプなど市販資材を用いることで、誰でも、安価で、何時でも資材を調達して囲い罠を作成できる。
- ・壁面は防鳥ネットを二重巻にして十分な強度を確保し、90%遮光ネットを外周を囲うことでシカが壁に近づくと視界を遮り、壁への突入を防ぐことができる。

【活用が見込まれる分野】

- 林業
- 環境保全

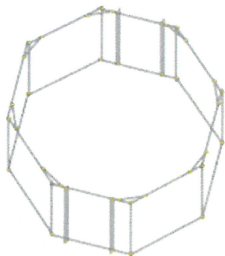
【成果】

- ・南アルプス市高尾地区でのニホンジカ捕獲

【内容】

① 足場用単管パイプの活用

- ・安価で資材の確保が容易
- ・組み上げると自重があり、アンカー固定が不要
- ・様々な接続継手があり、加工が容易、形状自由
- ・3名程度の人員で半日の作業



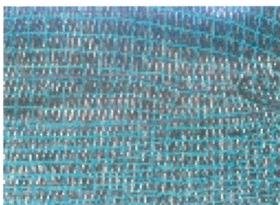
骨組みの素案



入口は対面二か所

② 囲い罠壁面の工夫

- ・防鳥ネットを耐力壁、90%遮光ネットを外景制限
- ・耐力壁としては防鳥ネット2重巻で十分
- ・90%遮光ネットはシカが壁に近づいた場合に大きな遮蔽効果を発揮する。
- ・風を受け流すため、荒天に強い



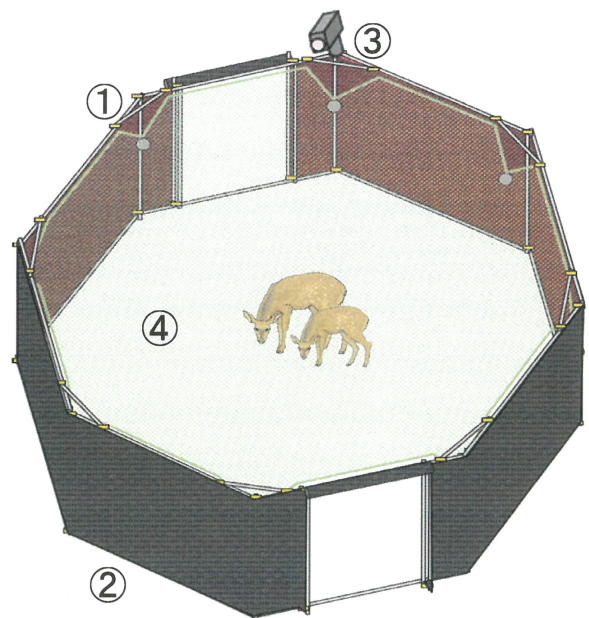
ネットに近づいたとき



ネットから離れたとき

③ 遠隔監視・遠隔操作

- ・無線式監視カメラ使用
(夜間赤外線撮影、見開き、直線200m送受信)
- ・PCや専用モニターで画面録画、監視
- ・ラジコン用プロポ(操作盤)でゲート及びドロップネットを作動(見開き、直線500m送受信)

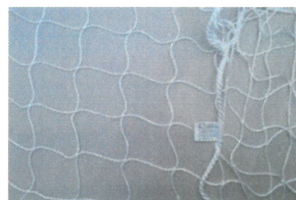


参考図は4m単管を用いた直径9m強の円形囲い罠。囲い罠、オプション含め20万円弱程

ニホンジカ用簡易囲い罠の全体イメージ

④ シカ保定用ドロップネット

- ・囲い罠での捕獲完了後、罠内のシカを保定
- ・土木工事用転落防止ネットを注文購入(大きさ、ある程度の形状指定が可能)
- ・遠隔操作によるスイッチングでドロップ



落下防止「安全ネット」



ドロップネットで保定